

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)タキイ種苗株式会社亀岡センター	階数	地上4F
建設地	京都府亀岡市	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条区域	平均居住人員	40人
地域区分		年間使用時間	1,920時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年11月 0.0	評価の実施日	2015年10月28日
敷地面積	8,631㎡	作成者	平井豊人
建築面積	1,805㎡	確認日	
延床面積	6,237㎡	確認者	

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.2</b> ★★★★★★</p> <p>S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

**2-4 中項目の評価(バーチャート)**

**Qのスコア = 2.8**

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア = 3.0	Q2のスコア = 3.5	Q3のスコア = 2.1
音環境: 3.0, 熱環境: 2.6, 光・視環境: 3.0, 空気環境: 3.9	機能性: 3.2, 耐用性: 3.2, 対応性: 4.2	生物環境: 1.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 2.0

**LRのスコア = 3.5**

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 3.7	LR2のスコア = 3.5	LR3のスコア = 3.1
建物外皮の: 5.0, 自然エネ: N.A., 設備システ: 4.0, 効率的: 3.0	水資源: 3.0, 非再生材料の: 3.0, 汚染物質: 3.0	地球温暖化: 3.0, 地域環境: 3.0, 周辺環境: 3.0

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>倉庫・作業場として建築するが、建物の長寿命化を目指し、将来、他の用途にも転用できるよう、荷重・階高・プランなどに配慮して、フレキシビリティを持たせた計画としている。</li> <li>耐久性および耐候性に優れた仕上材を採用し、維持管理のしやすさに配慮している。</li> </ul>		<p><b>その他</b></p> <p>0</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内装の仕上材に☆☆☆の材料を採用するなど、従業員の快適な作業空間に配慮した計画としている。</li> </ul>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆとりのある階高・天井高を確保し、将来の用途変更や設備更新に対して柔軟に対応できるようにしている。</li> </ul>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空調設備の排熱は、出来る限り屋上へ配置し、周囲への暑熱環境に配慮している。</li> <li>屋上のペントハウスを外壁面からセットバックすることで、周囲への圧迫感を軽減している。</li> </ul>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>LED照明や太陽光パネルを採用することで、省エネルギーに配慮した計画としている。</li> </ul>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>化学物質を発生しない仕上材料を採用している。</li> <li>躯体と仕上材を容易に分別できるようにして、再生の利用可能性の向上に取り組んでいる。</li> </ul>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>限られたエリア内における別棟増築ではあるが、可能な限り既存の緑地帯を残し、周辺環境に配慮した計画としている。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される